

職場における発達障害

— 障害特性の理解に基づく支援 —

特性を生かした働き方を支援し、より良い職場環境づくりを

日程

2019年11月1日（金）①午前の部10～13時 ②午後の部14～17時

会場

早稲田大学 国際会議場第3会議室（東京都新宿区西早稲田1-6-1）

◇東西線「早稲田駅」徒歩9分、◇都電「早稲田」駅徒歩5分

内容

午前の部	講師 太田 晴久先生（昭和大学附属烏山病院 医師）
10：00～11：00	第1部「大人の発達障害」
11：20～12：20	第2部「大人の発達障害への対応」
12：20～13：00	質疑応答
午後の部	講師 横井 英樹先生（昭和大学附属烏山病院 臨床心理士）
14：00～15：00	第1部「職場での発達障害の特徴・理解」
15：20～16：20	第2部「職場での事例」
16：20～17：00	質疑応答

費用

午前の部・午後の部 各6,000円（税別）、終日参加10,000円（税別）
（支払い方法：クレジットカード決済、コンビニ決済、ペイジー決済、請求書支払い）

定員

午前の部・午後の部 各50名（お申込み先着順）

申込

<https://www.phrf.jp>からお申込み下さい。



主催 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター（検索：phrf）

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-1-7

TEL:03-5287-5168 / FAX:03-5287-5072 / E-mail: kensyu-stress@phrf.jp

趣旨

発達障害は、近年の産業保健における大きな課題だといわれています。発達障害を抱える社員が仕事上でうまくいかなかったり、トラブルを抱えたりするケースも増えています。一方で、発達障害を抱える社員には、興味のあることにはずばぬけた集中力を示す、人並み外れた行動力を示すといった特徴をもっている場合があります。このような問題をどう扱い、特徴をどう活かすのか。

今回の健康教育研修会は、より実践的な内容を学べる2部構成になっております。

午前の部は、昨年度に引き続き、昭和大学附属烏山病院の成人発達障害専門外来で豊富な経験をお持ちの太田晴久先生にご講演いただきます。

午後の部は、同病院のリハビリテーションセンターのデイケアで発達障害を持つ方に支援プログラムを実施している、臨床心理士の横井英樹先生にご講演いただきます。職場での事例も数多くご紹介いただき、ご質問に対して丁寧にご説明いただきます。

当日は午前・午後ともに質疑応答の時間を十分に設け、より多くの方のご質問にお答えする実践的な内容となっています。

企業の人事労務担当の方、産業医・保健師・産業カウンセラーの方、管理監督者の方等、皆様のご参加をお待ち申し上げます。

太田 晴久 先生 略歴

医学博士、日本精神神経学会・指導医・専門医、精神保健指定医、日本医師会認定産業医

昭和大学附属烏山病院発達障害医療研究所准教授。2002年昭和大学医学部卒業。昭和大学精神医学教室に入局し、精神科医師として勤務。2009年より昭和大学附属烏山病院にて成人発達障害専門外来を担当。2012年自閉症の専門施設であるUC Davis MIND Instituteに留学。2014年より発達障害医療研究所にて勤務。発達障害とくに思春期以降の成人例に対する診療や研究に取り組み、講演会なども多数こなしている。

著書に「職場の発達障害 自閉スペクトラム症編（健康ライブラリー）」（講談社,2019）、「【大人の発達障害】デイケアを活用した発達障害の治療」（星和書店,2017）、「【[改訂版]精神科・わたしの診療手順】（第2章）神経発達症群 自閉スペクトラム症（重症、成人）」（臨床精神医学（O300-O32X）45巻増刊号 Page76-8(2016)）「【成人期の発達障害への取り組み】 成人の発達障害の理解とサポート ASDとADHDの鑑別」（日本医事新報（O385-9215）4852号 Page26-30(2017)）ほか。

横井 英樹 先生 略歴

臨床心理士、公認心理師、訪問型職場適応援助者

一般企業で設計開発業務に5年間従事後に、大学院にて臨床心理学専攻。2002年昭和大学附属烏山病院に入職。2006年からは同病院リハビリテーションセンターにてデイケア勤務、2008年よりASD専門プログラム、2013年よりADHD専門プログラムの立ち上げに携わる。集団療法だけでなく、個別の就労支援、定着支援なども行っている。

著書に「大人の自閉症スペクトラムのためのコミュニケーション・トレーニング・マニュアル」「大人の自閉症スペクトラムのためのコミュニケーション・トレーニング・ワークブック」（星和書店,2017）、「発達障害を対象としたデイケアでのプログラム」（産業精神保健27（特別号）:Page90-97,(2019)）、「デイケアと発達障害の就労支援。」（精神科；28巻2号：Page127-132,(2016)）ほか。